

第12回議会報告会議事録（要約）

と き	平成28年11月 5日（土）	14時から15時30分
ところ	高岡コミュニティセンター	
テーマ	1部：9月定例会について 2部：地域産業の活性化と子育て環境について	
参加者数	12人	
参加議員（8名）	井上茂和・二階一夫・山本通廣・桑村繁則・長谷川勝己 岸本眞知子・長谷川幹雄・藤浦 巧	
書 記	長谷川幹雄・藤浦 巧	
特記事項		



報告会の様子

【概況】

12人の出席があったが、開催地区の参加者がほとんどであり、また、質問あるいは意見を述べられる方は数人であった。そのうち、毎回出席される方（1人）の質問、意見を述べられる時間が長かった。

なお、テーマ以外の事柄を質問等をされる方も数人おられた。

Q：質問、要望等 A：回答

【第1部】

Q 公共交通について、天神、小野線に700万円補助しているが前に小野市のコミバスをことわって、独自に天神、松沢に神姫バスを走らせているが誰も乗っていない。
西脇市等は公共バス実施にあたって、視察等を行っているが、加東市は視察に行ったのか。

A 東条について、過去に小野市のらんらんバスを走らせる話があったが、小野の他、西脇、社へ行く学生もあり不公平になるため実現しなかった。視察等にも行っている。
尚、今、加東市では公共交通網形成計画を策定中。

Q	鳥獣被害でネットを張ったが、最近では道に出て危険で困っているが解決策はないのか。
A	高岡だけでなく河高でも出ている。網を張るだけでは無理である。行政も解っているので市も前向きに検討しているが、今すぐこうできるとは言えない。
Q	高岡地区では多面的機能支払交付金事業で、防護柵の事業を実施している。地区全体に対応しようとするれば多額になるので、金額を確保してほしい。
A	言われるとおりであり、補助対策を考えるが、今、ここですぐには言えない。
Q	<p>子ども見守隊を1人で頑張っている。毎日、登下校の見守りをしている。</p> <p>アドプトプログラムの通学路の草刈り、夏場、あまり伸びない程度で草刈りしてほしい。個人のところは個人でやっている、保育園のところはシルバー人材センターがやっている。</p> <p>高岡地区は暗いので、防犯灯を設置してもっと明るくしてほしい。何十年も不審者が出なかったが、最近事件があった。警察も出てくれている。桜台地区に防犯灯を設置してもらった。最初、自衛隊に話をもって行ったがダメで、会社に持って行ったら会社がつけてくれた。</p>
A	防犯灯については、区長さん経由で要望を上げてもらっている。その中から順番を決め対応しているが、全市では数が多いため、待っていただく場合もある。
Q	病院事業の28年度予算で3億円の短期貸付がされるが赤字なのに返済できるのか。
A	短期貸付でなく長期の貸付である。ちなみに27年度決算では約19億6千万円の累積損失がある。

【 第 2 部 】

Q アフタースクールを民間に委託した場合には、現状と同じように取り組んでいただけるのか。

A シダックス大新東ヒューマンサービス株式会社は全国展開した会社で、民間委託した場合も現状と同じように取り組みをされる。メリットがあるから民間委託する。

Q 待機児童ゼロだと聞いているのに、認定こども園にするのはなぜか、一体型になっていない(幼稚園型認定こども園、保育園型認定こども園)のはなぜか。加東市の教育は大丈夫か。

A 今現在の幼稚園は幼稚園型認定こども園といい、保育園は保育園型認定こども園で、1号・2号認定等があつて、平成31年度に開設の私立認定こども園は一体型認定こども園になる。300人近い園児が入る認定こども園になる。市は教育環境に力を入れているので大丈夫。高岡の認定こども園は保護者から人気が出ている。

Q 中小企業の振興について、公正な入札時に障がい者を優先採用している企業を優先して採用する取り組みはできないのか。成果が見えていないようだ。

A 積極的に推進していると思われるが、加東市の入札時の障がい者雇用企業の優先については、確認して報告させて頂く。

Q アフタースクールの件で確認、民間委託でどう変わるのか。趣旨は変わらないのであればメリットはあるのか。

A 趣旨的には現状の維持のままで行う。メリットは、利用者の増加により支援員の確保が課題であったが、支援員の確保が容易になる。

Q 加東市の空き家が多くあるのに、賃貸住宅が多く建っているのはどういうことか。空き家対策はどうなっているのか

A 市として、空き家対策について、いろいろな取り組みをしている。

商業対策等にも取り組んでいる。民間の取り組みに関してはわかりにくい面があり、行政のかかわりとしては難しい面がある。